

# 野村DC外国株式インデックスファンド・ MSCI-KOKUSAI

追加型投信／海外／株式／インデックス型

## 交付運用報告書

第15期(決算日2022年3月31日)

作成対象期間(2021年4月1日～2022年3月31日)

第15期末(2022年3月31日)	
基準価額	28,491円
純資産総額	158,245百万円
第15期	
騰落率	25.5%
分配金(税込み)合計	5円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし)の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行ないます。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

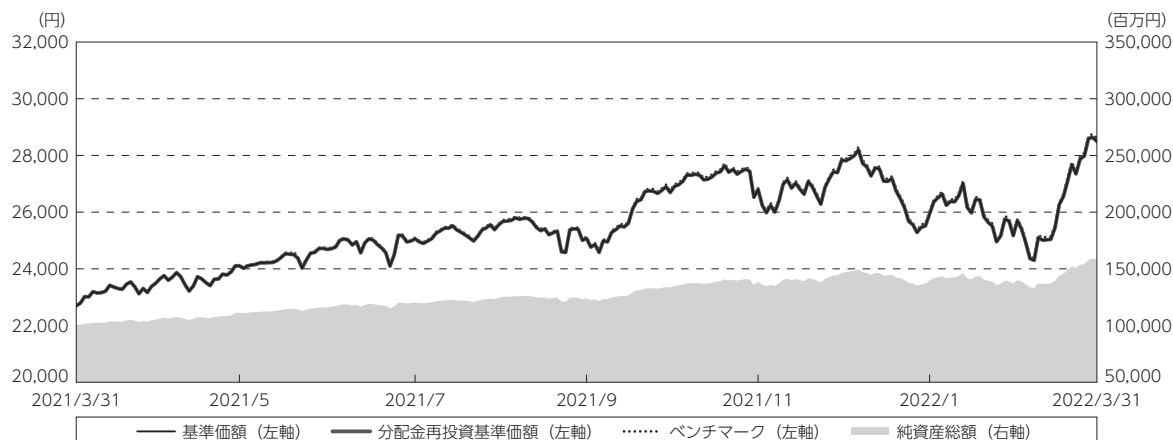


ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2021年4月1日～2022年3月31日)



期首：22,697円

期末：28,491円 (既払分配金(税込み)：5円)

騰落率：25.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年3月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし)です。詳細は4ページをご参照ください。ベンチマークは、作成期首(2021年3月31日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の変動要因

新型コロナウイルスのワクチン接種加速による経済正常化への期待が高まったこと、堅調な欧米企業の決算や欧米の経済指標が市場予想を上回ったことなどを受けて、基準価額は上昇しました。

## 1 万口当たりの費用明細

(2021年4月1日～2022年3月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 39	% 0.154	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投信会社)	(17)	(0.066)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販売会社)	(17)	(0.066)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受託会社)	( 6)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	( 0)	(0.001)	
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	( 1)	(0.005)	
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.013	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 1)	(0.005)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	43	0.174	
期中の平均基準価額は、25,365円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

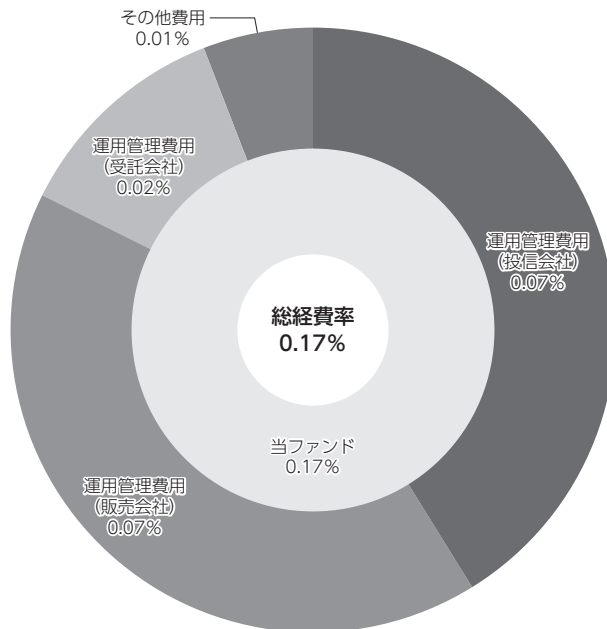
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

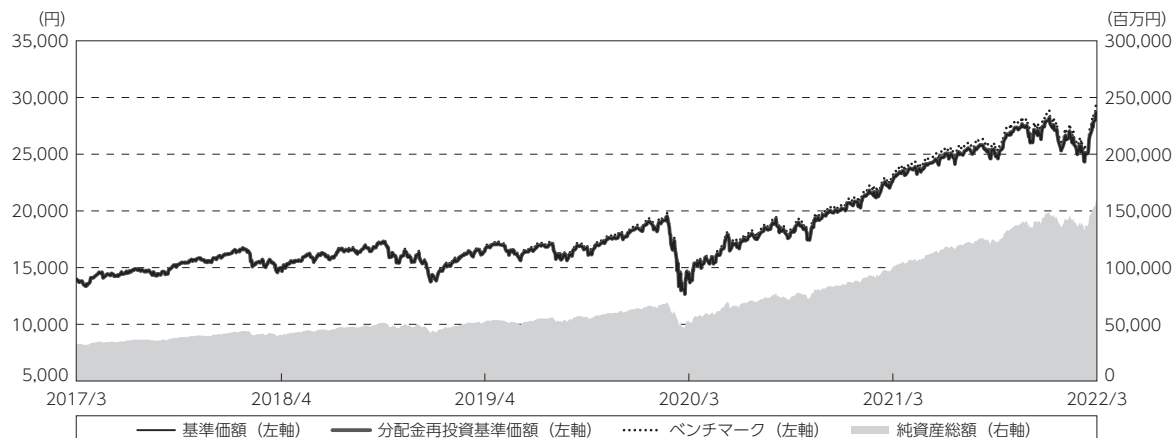
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2017年3月31日～2022年3月31日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2017年3月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし）です。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、2017年3月31日の値が分配金再投資基準価額と同一となるように計算しております。

	2017年3月31日 決算日	2018年4月2日 決算日	2019年4月1日 決算日	2020年3月31日 決算日	2021年3月31日 決算日	2022年3月31日 決算日
基準価額 (円)	13,997	14,968	16,446	14,501	22,697	28,491
期間分配金合計（税込み） (円)	—	5	5	5	5	5
分配金再投資基準価額騰落率（％）	—	7.0	9.9	△ 11.8	56.6	25.5
ベンチマーク騰落率（％）	—	7.4	10.6	△ 11.3	56.9	26.0
純資産総額 (百万円)	33,123	40,796	52,037	53,627	100,215	158,245

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

\* MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし）は、基準価額への反映を考慮して、営業日前日のMSCI-KOKUSAI指数（米ドルベース）をもとに、営業日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売相場仲値）で当社が円換算しております。

\* MSCI指数は、MSCIが独占的に所有しています。MSCI及びMSCI指数は、MSCI及びその関係会社のサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は特定の目的のためにその使用を許諾されています。

ここに記載されたいかなるファンドも、MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者のいかなる者もその合法性および適合性に関して判断したのではなく、また、これを発行、後援、推奨、販売、運用または宣伝するものでもなく、ここに記載されたいかなるファンドに関していかなる保証も行わず、いかなる責任も負いません。

請求目録見書には、MSCIが野村アセットマネジメント株式会社およびその関連するファンドと有する限定的な関係について、より詳細な記述があります。（出所）MSCI

**投資環境**

(2021年4月1日～2022年3月31日)

主要投資国の株式市場は、期首から新型コロナウイルスのワクチン接種加速による経済正常化への期待が高まったこと、堅調な欧米企業の決算や欧米の経済指標が市場予想を上回ったことなどを受けて上昇しました。2021年9月には、米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や中国の大手不動産会社の債務問題を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり下落に転じましたが、10月以降は、新型コロナウイルスの経口治療薬の早期実用化への期待が台頭したことや米債務上限問題が先送りされたこと、堅調な欧米企業の決算発表が続いたことなどから再び上昇しました。2022年1月以降は、FRB（米連邦準備制度理事会）が金融政策の正常化を前倒しで進めるとの見方が強まったこと、ロシアがウクライナへ軍事侵攻したことや欧米を中心にロシアに対する経済制裁を強化する動きが広がったことで世界経済の先行き不透明感が強まったことなどを受けて下落しました。3月中旬から下旬にかけては、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待などから上昇しました。

為替市場は、期首から主要通貨である米ドルは米金融緩和の早期縮小観測や米長期金利の行方を巡り一進一退となりました。2021年9月下旬から10月中旬にかけては、米金融政策の正常化が意識され米長期金利が上昇基調になったことなどから上昇（円安）しました。11月以降は、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大への懸念や、FRB（米連邦準備制度理事会）の金融政策正常化に対する姿勢などを巡り、再び一進一退となりました。2022年3月以降は、エネルギー価格の高騰などによる物価上昇に対応するべくFRBが金融引き締め姿勢を強めていることなどを背景に日米の金利差が拡大したことなどを受けて上昇（円安）しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2021年4月1日～2022年3月31日)

**[野村DC外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSAI]**

主要投資対象である〔外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド〕受益証券に、期を通じてほぼ全額を投資しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

**[外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド]****・株式組入比率**

株式の実質組入比率（投資信託証券や先物を含む）は、期を通じ高位に維持しました。

**・期中の主な動き**

MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし）の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指し、現物株式への投資にあたっては、各銘柄への投資比率を各銘柄がMSCI-KOKUSAI指数の中で占める比率にほぼ一致させ、MSCI-KOKUSAI指数の変更（銘柄入れ替え、比率変更など）に対応して適宜ポートフォリオの見直しおよび修正を行ない、また資金流入に対しても速やかに対応しました。なお為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年4月1日～2022年3月31日)

今期の基準価額の騰落率は+25.5%となり、ベンチマークであるMSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし)の+26.0%を0.5ポイント下回りました。

主な差異要因は以下の通りです。

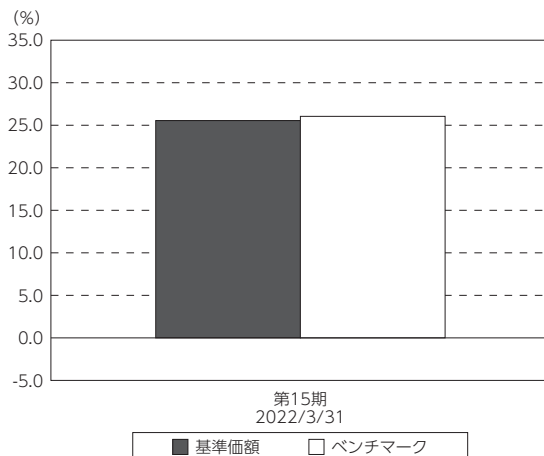
## (マイナス要因)

- ①コスト負担(当ファンドの信託報酬や、マザーファンドにおける売買コストや保管費用など)
- ②配当金に対する課税(ファンドでは税引き後の配当金が計上される一方、ベンチマークは税引き前で計算されるため)

## (その他、差異を生じた要因)

為替の評価時価による差異(ファンド評価に使用される為替レートとベンチマークの為替レートに時間差があり異なるため)

基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



- (注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。  
 (注) ベンチマークは、MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし)です。

## 分配金

(2021年4月1日～2022年3月31日)

収益分配金は、基準価額水準等を勘案して決定させていただきました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第15期
	2021年4月1日～2022年3月31日
当期分配金	5
(対基準価額比率)	0.018%
当期の収益	5
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	20,203

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率は異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### [野村DC外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSAI]

主要投資対象である [外国株式MSCI-KOKUSAI マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、引き続き、MSCI-KOKUSAI 指数 (円ベース・為替ヘッジなし) の中長期的な動きを捉える投資成果を目指します。

### [外国株式MSCI-KOKUSAI マザーファンド]

引き続き、MSCI-KOKUSAI 指数 (円ベース・為替ヘッジなし) の中長期的な動きを捉える投資成果を目指して運用を行ないます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

該当事項はございません。

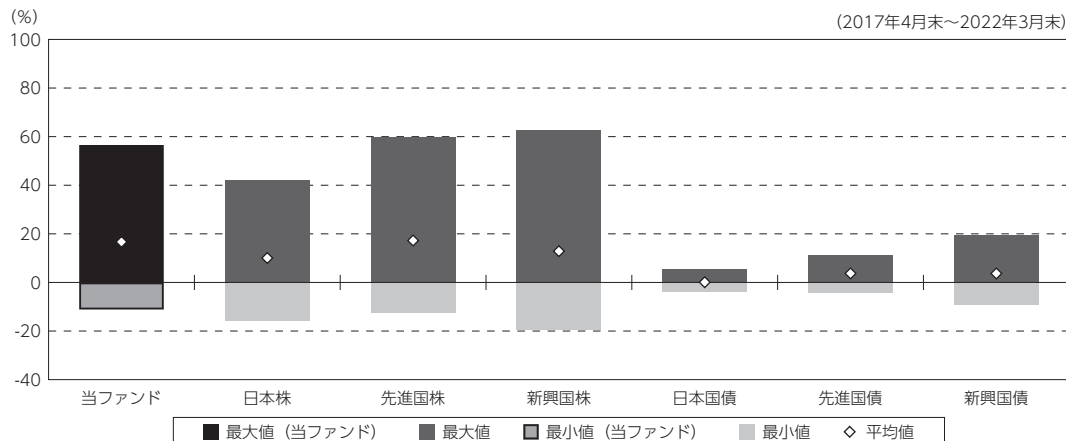
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2007年9月27日以降、無期限とします。	
運用方針	主として外国株式MSCI-KOKUSAI マザーファンド (以下、「マザーファンド」といいます。) 受益証券への投資を通じて、外国の株式に実質的に投資し、MSCI-KOKUSAI 指数 (円ベース・為替ヘッジなし) の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行ないます。	
主要投資対象	野村DC外国株式インデックス ファンド・MSCI-KOKUSAI	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	外国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、MSCI-KOKUSAI 指数 (円ベース・為替ヘッジなし) の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行ないます。	
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当収入等を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.6	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 11.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 4.5	△ 9.4
平均値	16.7	10.1	17.3	12.9	0.1	3.7	3.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年4月から2022年3月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2022年3月31日現在)

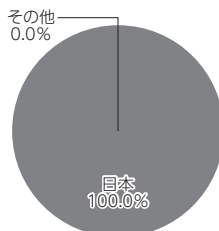
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第15期末
外国株式MSCI-KOKUSAI マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

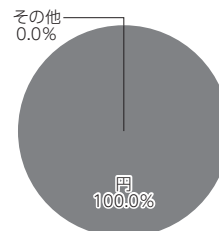
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第15期末
	2022年3月31日
純資産総額	158,245,704,751円
受益権総口数	55,541,756,367口
1万口当たり基準価額	28,491円

(注) 期中における追加設定元本額は21,381,751,889円、同解約元本額は9,994,412,332円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 外国株式MSCI-KOKUSAI マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## 【基準価額の推移】

(2021年4月1日～2022年3月31日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2021年4月1日～2022年3月31日)

項目	当期	
	金額 円	比率 %
(a) 売買委託手数料 (株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 ) ( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	1 (0) (0) (0)	0.002 (0.001) (0.000) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	2 (2) (0)	0.005 (0.005) (0.000)
(c) その他費用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	4 (2) (2)	0.010 (0.004) (0.006)
合 計	7	0.017

期中の平均基準価額は、42,255円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

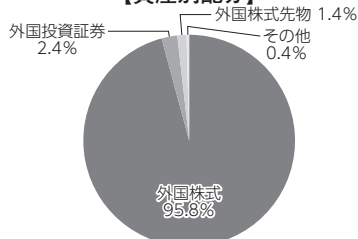
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

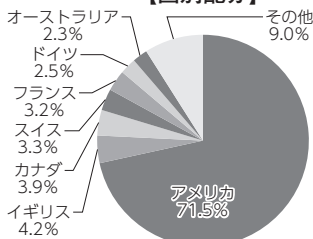
(2022年3月31日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	米ドル	アメリカ	5.1%
2 MICROSOFT CORP	ソフトウェア	米ドル	アメリカ	3.9%
3 AMAZON.COM INC	インターネット販売・通信販売	米ドル	アメリカ	2.7%
4 TESLA INC	自動車	米ドル	アメリカ	1.6%
5 ALPHABET INC-CL A	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	1.5%
6 ALPHABET INC-CL C	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	1.4%
7 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	1.2%
8 SPENI2206	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	1.1%
9 META PLATFORMS INC	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	0.9%
10 UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア・グローバルヘルスケア・サービス	米ドル	アメリカ	0.9%
組入銘柄数		1,288銘柄		

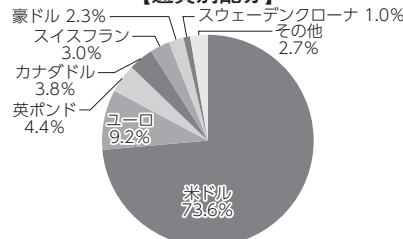
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### ○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

#### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行なわれる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国のJ.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行なう際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)